あなたの「もったいない」が、誰かの「ありがとう」に。



眠っている食品を、地域の支え合いにつなげませんか？

家庭で買いすぎてしまった食品や、食べきれずに残っている食品はありませんか？
まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を減らし、必要としている方へ届ける取り組みが「フードドライブ」です。
「少し余っているけれど、捨てるのはもったいない」そんな食品が、誰かにとって大切な食料になるかもしれません。
また、食品ロスを減らすことは、環境への負担を減らすだけでなく、地域で暮らす人を支えることにもつながります。
次回は、令和９年１月から社会福祉協議会主催でフードドライブを開催予定。ぜひお持ち寄りください。





皆さんの温かいご協力をお願いします。

市も地域のフードドライブを応援しています

１月・７月は、西東京市社会福祉法人連絡会が主催するフードドライブを実施。市も食品の受付や箱詰め作業などに協力しました。市民の皆さんや社会福祉法人など地域のさまざまな方々が力を合わせることで、食品を「捨てる」のではなく、「必要な人へ届ける」仕組みが生まれています。

集まった食品は、地域の中で生かされています

４月・10月は市主催のフードドライブを実施。市民の皆さんから多くの食品をご寄付いただきました。寄付された食品は、種類や状態などを確認して仕分け・箱詰めを行い、地域のさまざまな支援に活用されています。
子ども食堂では、寄付された米や食品などが食事の材料として活用され、子どもたちが安心して食事をとれる場を支えています。また、生活に困っている方への食料支援では、日々の暮らしに必要な食品を届けることで、生活を支える一助となっています。

知ることから始める、きれいなまちづくり

市では、外国人の方にも地域のごみ出しルールを知っていただくため、「ごみの捨て方出前講座」を実施しています。
講座では、燃やすごみ・燃やさないごみ・資源物などの分別方法や、収集日、ごみの出し方について、実際のごみを例に分かりやすく説明します。ごみ出しのルールを知ることは、きれいなまちを守り、地域で安心して暮らすことにもつながります。
外国人の方が参加する団体や学校、地域活動などで、ぜひご利用ください。
「どう捨てればいい？」を「分かった！」に。
みんなでルールを知り、気持ちよく暮らせるまちをつくりましょう。出前講座を希望する団体は、お気軽にお問い合わせください。

ペットボトルは、回収機へ！

市内のセブン‐イレブンに設置されているペットボトル回収機をご存じですか？飲み終わったペットボトルを回収機に入れることで、ペットボトルを資源として回収し、再び新しい製品などに生まれ変わらせることにつながります。
利用するときは、キャップとラベルを外し、中を軽くすすいで、つぶさずに回収機へ。身近な場所でできる、資源循環への取り組みです。

いつものペットボトルを、捨てる前にもうひと工夫。
未来の資源につなげるため、回収機をご利用ください。

ごみのこれからを、一緒に考えませんか？

市では、ごみの減量や資源の再利用を進めるため、「西東京市一般廃棄物処理基本計画」を策定しています。また、地震などの災害が発生した際に大量に発生する災害廃棄物を、適正かつ円滑に処理するため、「西東京市災害廃棄物処理計画」を策定しています。
これらの計画は、日頃のごみの減量・資源化から、災害時のごみ処理まで、私たちの暮らしに関わる大切な計画です。計画の策定にあたり、市民の皆さんからご意見を募集する「パブリックコメント」を実施します。皆さんの暮らしの中で感じていることや、ごみの減量・資源化、災害時のごみ処理についてのご意見をお寄せください。

【対象】市内在住・在勤・在学の方、市内に事務所・事業所を有する法人・団体など
【提出方法】郵便、ファクス、電子メールなど
【詳細】市ホームページをご覧ください。
※11月９日㈪公開